

あんぜんだより

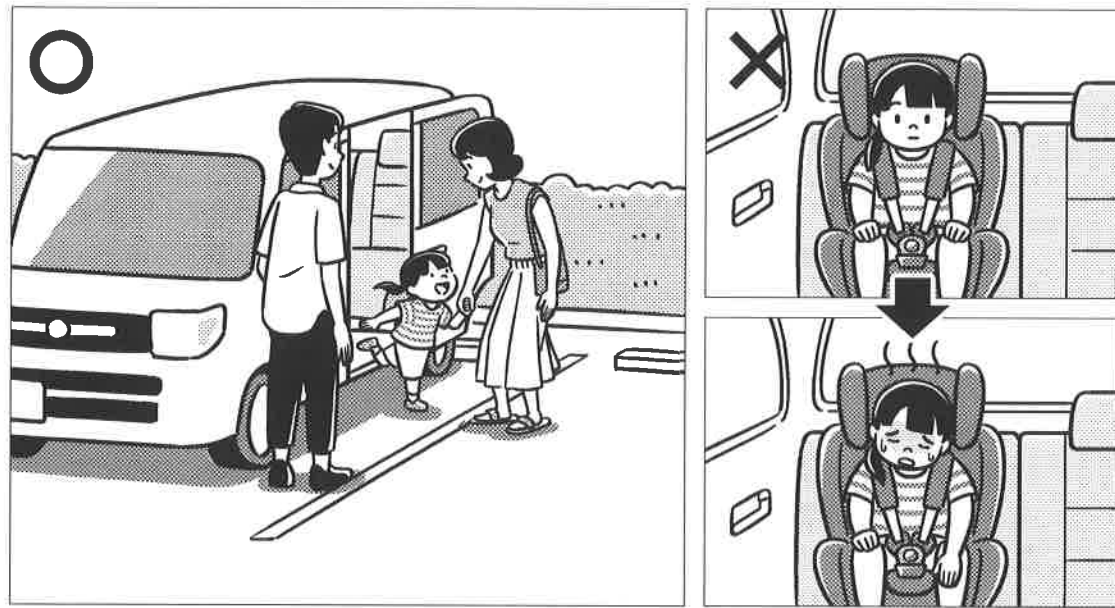
監修 全国学校安全教育研究会/東京都荒川区立南千住第二幼稚園 園長 立石晃子先生



子どもを車内に残さないようにして大切な命を守りましょう

暑い夏がやってきました。毎年のように、炎天下の駐車場で車内に置き去りにされた子どもが熱中症によって亡くなるという事件が、全国で起きています。「ほんの少しの時間だから」と油断をせず、必ず子どもと一緒に車を降りるようにしてください。

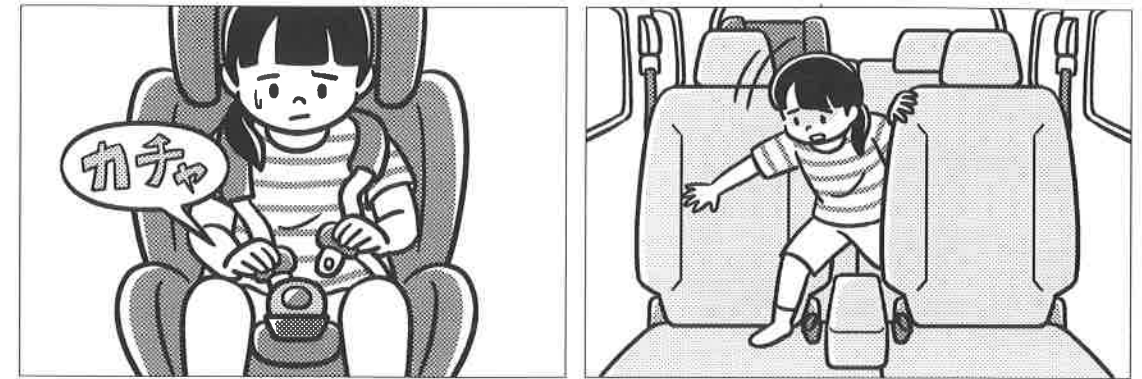
こどもだけで くるまの なかに のこっては いけないよ



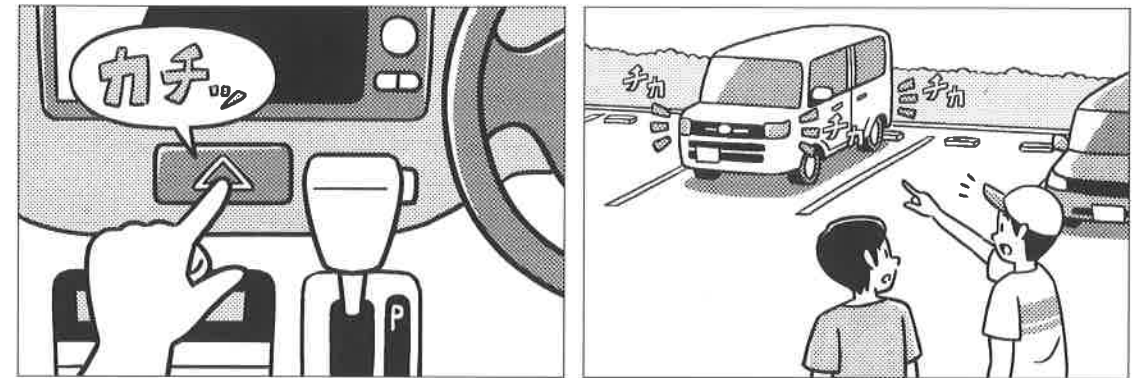
なつの きせつは しめきった くるまの なかは あっという まに あつくなるよ。ねっちゅうしょうになって しまうから こどもだけで のこっては いけないよ。

保護者の方へ 夏場の駐車場でエンジンを切った車内の温度は、ほんの10数分で生命が危険なレベルにまで上昇します。冷房を入れていたとしても、燃料切れやバッテリー上がりなどで停止してしまうことも考えられます。たとえわずかな時間であっても車内に子どもだけを残さず、必ず一緒に降車してください。

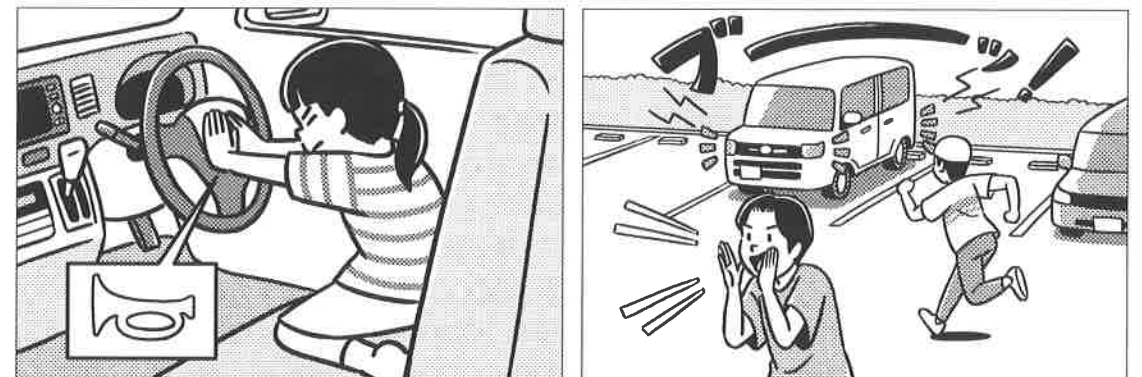
もしも くるまに のこってしまった ときは まわりの ひとに きづいて もらおう



ベルトをはずし あしもとに きをつけて うんてんせきへ いこう。



さんかくマークの ボタンをおして くるまの ランプをつけよう。



らっぱマークを ちからいっぱい おして おとを ならそう。

保護者の方へ 万が一にも子どもが車内に残ってしまった時は、自らの存在を周囲の人に音と光で知らせることが大切です。チャイルドシートのベルトの外し方、ハザードランプのつけ方、クラクションの鳴らし方を、一緒に練習をしておきましょう。

8月号では「花火をする時の注意」について取り上げます。